姫路 西国街道・名所スポット

江戸時代の面影が町並みの中に残っている「船場城西」瓦屋根に白壁・格子等々…歩くほどに歴史のロマンに溶けこんでゆく…

1 姫路船場別院 本徳寺（せんぼほんとくじ）
浄土真宗（真宗大谷派）の寺院。江戸初期藩主本多忠政の時に創設された。播磨の同派の中心寺院である。建物は江戸期のもので規模も大きく、また、明治天皇の行幸の行在所が現存し往時の粋をしのばせている。境内では楽市が定期的に開かれている。（市指定文化財）

6 初井家（非公開）
姫路を代表する文化人、歌人故初井しづ枝の家。江戸時代の建物で、その姿は西国街道の風情を今に伝える。北原白秋に師事した初井しづ枝の作品は姫路文学館に収蔵され、創作活動の場、初井家の縁側は展示コーナーに再現されている。
（市指定景観重要建築物）

2 景福寺（けいふくじ）
禅宗（曹洞宗）。寺地は藩主の菩提寺が置かれた所。酒井家の菩提寺で、境内に奥方三代の墓石が並ぶ。
背景の景福寺山には酒井家藩士ゆかりの墓が多く現存する。山門の仁王像は鎌倉時代の作。境内のお堂には鎌倉・室町の仏像が多数安置されている。

7 農人町
城下町成立時の江戸時代初めに作られた町で、街路がノコギリの刃のようにジグザグになっている。
姫路城の守りの戦術として造られ、城下で数ケ所見られる特徴である。

3 見星寺（けんしょうじ）
禅宗（臨済宗）。室町時代からある古い寺と伝えられ、裏墓地には鉄牛和尚（塙団右衛門）の卵塔や藩主本多忠政、政朝の五輪塔（空風輪のみ）などもある。境内には江戸時代、寛延2年に起きた船場川の洪水の犠牲者を弔う菩提碑がある。

8 舟入川
炭屋橋の下を通って船場川と合流する舟入川は荷物の積み下ろし場や船溜まりであった。
現在もその名残りがあり、川沿いの児童公園として使われている。往時は材木商が数軒あり、姫路城の造営や町家に材木を供給していた。1軒の

城下町 姫路

歴史と出会えるまち 船場城西・城南

てくてく歩いて町家等、城下の薫りをご満喫！

至書写山
男山八
千姫天
姫路文学館
山野井町 2
3
城の西公民館
姫路駅行 10～12分毎 170円
岡町
鷹匠町
姫路駅行 10～12分毎 170円
醤油屋跡
岩端南口
武道具
景福寺山頂
10 姫路城主 松平明矩の墓所
姫路城 撮影ポイント
市之橋
5
薬師山
薬師山トンネル
大御岩神社
稲荷神社
正円寺
彫刻「協調」
景福寺 2
神社
西国街道にしまちや ワークショップ
船場城西の会の 活動拠点
町名由来板
道標
市之橋
柿山伏
材木町
千姫像
船場八景③
船場 八景④
見星寺 3
町名由来板
町名由来板
町のビューポイント お城も見えるよ
飾磨県庁跡 4
善福寺
願成寺
龍野町4丁目
農人町 7
町名 由来板
稲荷神社
景福寺前
高瀬船の碑
炭屋橋モニュメント
炭屋橋碑
光専寺
のこぎり横丁
竜野町
8
舟入川
町名由来板
西新町
15
みそ橋屋
吉田町
町名由来板
この辺りはかつて 酒蔵群・材木問屋
船場八景⑤
職人の町
地蔵
5 西国街道
龍野町
レトロな 洋館
姫路駅行 4～15分毎 170円
公園
飾磨郡 役所跡
気になる リングの オブジェ
町名 由来板
なつかしい風景
船つなぎ石 9
琴岡町
車橋の碑
6
初井家
町名由来板
車門跡
14
まちづくり事務局
琴岡町
神社
神社
上片町
13 12
11
20
19
町名由来板
船丘町
元町3丁目
船場公園
小姓町
米田町
町名由来板
18
元町
船場八景 説明
10
ヒメセジ通り
9
6
8 7
石垣
埋門跡
歴史と出会えるまちづくり 船場城西の会
●町のお問い合わせは
まちづくり事務局まで
地内町
播州信用金庫
姫路商業学校跡
芳順寺
17
16
白鷺橋（レトロな橋）
白鷺橋
「船場 御坊さん」で 親しまれているお寺 船場御坊楽市
町名由来板
1
船場本徳寺
・明治天皇行在所
・姫路藩勤王の志士の墓
・西南の役の碑
浄蓮寺
町名由来板
西国橋
船橋町
白鷺橋
稲荷神社
姫路グリーン ホテル坂元
坂元町
片田町
東雲町
地蔵
博労町
福中橋
福中町
備前門橋跡
緑橋
船場小学校
21
22
船場八景⑥
角町